

ニコラスとエレナのストーリー

ニコラスとエレナは10年間幸せな結婚生活を送り、3人の子供がいます。二人とも、イエス・キリストと主の福音を土台とした家族を築きたいと願い、それぞれが神から与えられている家族の責任を果たそうと努めています。

ほかの夫婦と同様、ニコラスとエレナにも意見の相違があります。意見の相違はたいてい、金銭に関するものです。ニコラスは家の外でフルタイムで働いています。エレナは時折小さな副業を行っていますが、専業で育児と家の管理を行うことができます。ニコラスは、家庭を管理するという自分の役割を信じていますが、同時に、自分のほうが稼いでいるため、お金の使い道について自分に最終的な決定権があるはずであると考えています。エレナは、ニコラスよりも子供たちと一緒にいる時間が長いので、子供たちにかかわる決断は自分がすべきだと思っています。これまで時折、ニコラスには内緒で、自分のしたいことにお金を使ったこともあります。

ニコラスとエレナは最近、自分たちがためたお金をどうするかについて話し合っています。ニコラスは、通勤や家族の移動をより便利にできる車を購入するために使いたいと思っています。エレナは、そのお金を使って、子供たちが大きくなる前に、休暇を取って子供たちを親戚を訪ねる旅行に連れて行ったり、一緒に楽しいことをしたいと考えています。

ニコラスとエレナの意見の相違が二人に重くのしかかっていますが、決断は下さなければなりません。

- このお金の使い道を決めるうえで、ニコラスとエレナが直面している最大の課題は何だと思いますか。
- 家族のための決定を下すため、対等のパートナー関係と管理するという点について、二人はどのようなことをもっとよく理解する必要があると思いますか。（準備資料のセクション3参照）
- 自分がニコラスやエレナだったら、この決断についてキリストのような方法でともに評議するために、どのように伴侶に働きかけることができるでしょうか。